

すこやかちゃん



岩下 由奈ちゃん
(布佐平和台・1歳3カ月)

最近歩くのが上手になってきたゆうなちゃん。パパとママとたくさん夏の思い出作ろうね!



中山 達喜ちゃん
(寿・1歳2カ月)

父さん母さんの宝物たっくん。いつもかわいい笑顔で皆を癒してくれてありがとう。大好きだよ。



お願い 集団検診受診券《後期》をお持ちの方へ

昨年度がん検診の集団検診を受診された方には、平成28年度の集団検診受診券を送付しています。後期集団検診の受診券をお持ちで今年度受診予定のない方は、必ずキャンセルの連絡をお願いします。

対象受診券 胃がん集団検診、子宮頸がん集団検診、乳がん集団検診(いずれも後期)

問 健康づくり支援課(保健センター) ☎7185-1126



我孫子市社会福祉協議会主催

介護保険ボランティア地域別交流会 ～身近な介護施設を知ろう、介護予防体操をしよう～

場所	我孫子南近隣センターホール	布佐南近隣センター集会室
日時	8月26日(金)13時30分～16時	8月29日(月)13時30分～16時
締切日	8月24日(水)	8月26日(金)

内容 ①開催場所ごとの身近な介護施設を紹介②介護予防体操③介護保険ボランティアポイント制度の説明

対象・定員 市内在住で65歳以上の方、先着各30人(要申込)

費用 無料

問・問 ボランティア市民活動相談窓口で・と・り・あ ☎7185-5233

書き損じハガキを集めています

我孫子市国際交流協会(AIRA)ではユネスコの「寺子屋運動」(読み書きを学べるように教育の機会を提供する運動)に協力するために、書き損じハガキを集めています。52円の書き損じハガキは47円の募金になります。ご協力をお願いします。

回収箱設置場所 あびこ市民プラザ、アビシルベ、AIRA事務局
※書き損じハガキの宛名や住所はマジックなどで塗りつぶしてお持ちください。

★ご協力ありがとうございました!★

AIRAでは、昨年12月～2月の3カ月間、各行政サービスセンターや、公共施設などに回収箱を設置し、「書き損じハガキユネスコ募金キャンペーン」を実施しました。期間中には1234枚の書き損じハガキが寄せられ、5万4986円分の切手と交換し、(公社)日本ユネスコ協会連盟に送ることができました。ご協力ありがとうございました。

問 我孫子市国際交流協会(AIRA) ☎7183-1231

所得状況届(現況届)の提出を

特別児童扶養・障害児福祉・特別障害者・経過福祉の各手当

各手当の受給資格がある方に、所得状況届または現況届を郵送しました。必要書類を添えて期限までに提出してください。届出がないと8月分以降の手当が受けられなくなりますのでご注意ください。なお、各手当とも所得制限があります。

受給できる方と障害の程度の目安

各手当とも、身体障害者手帳や療育手帳を持っていない場合、精神の障害や内部機能障害が同程度と認められます。詳しくはお問い合わせください。

※「特別児童扶養手当」所得状況届は、障害福祉支援課(市役所西別館4階)に所得状況届・特別児童扶養手当証書・印鑑・受給者本人のマイナンバーがわかるもの・来庁者の本人確認ができるもの・その他必要書類を持参してください(郵送不可)

◎特別児童扶養手当 身体的または精神的に中々重度の障害を有する20歳未満の児童を養育する父または母、もしくはは父母にかわって養育している方
障害の程度の目安 身体障害者手帳1級～3級程度、療育手帳AからBの1程度

◎障害児福祉手当 身体的または精神的に重度の障害があり、常時介護を必要とする20歳未満の方
障害の程度の目安 身体障害者手帳1級または2級の1部(主に合併者)、療育手帳Aの1
提出先・問 〒270-1192 市役所障害福祉支援課(住所省略可)・内線389

松戸健康福祉センター 各種無料相談 9月

相談名	日時	予約・問
不妊相談	電話(予約不要) 5日(月)9時～11時30分 来所 5日(月)13時30分～15時	047-361-2138
思春期相談	12日(月)14時～17時	
精神保健福祉相談	6日(火)14時～16時	
酒害相談	15日(水)14時～16時30分	047-361-2139
エイズ検査	即日検査 6・20日(火)13時30分～14時	
	夜間検査 20日(火)17時30分～19時	
DV相談	電話(予約不要) 月～金曜日9時～17時 来所 原則金曜日9時～17時	047-361-6651

松戸保健所我孫子連絡所(保健センター3階)9時～17時
専門職員出張日 食品 14・28日(水) 環境 20日(火) 問 ☎047-361-2139

くる病

子育てQ&A



最近くる病が乳幼児に増えていると聞きますが、どのような病気ですか? 予防法はありますか?



くる病は、小児の発育期にカルシウムが骨に沈着せず、骨の組織が形成されないため、成長障害や骨の変形が生じる病気です。症状は背の伸びが悪い、下肢が曲がるなどです。さまざまな要因がありますが、主な原因はビタミンD、カルシウムなどの欠乏です。予防法は、ビタミンD、カルシウムなどを食事から摂取すること、皮膚に紫外線を受けて体内でビタミンDを合成することです。お子さんの離乳食や食事に、ビタミンDの多い食品(魚、卵、しいたけなど)、カルシウムの多い食品(ひじき、ごま、えんどう豆など)を取り入れることが大切です。また、母乳はビタミンDの含有量は少ないですが、吸収率が良く、スキンシップ効果もあります。母乳育児の場合は、お母さんが栄養バランスのよい食事を心掛けることも重要です。また、母子共に極端に紫外線を避けず、帽子や日焼け止めを使用して外気浴や外遊びをするのも効果的です。レースカーテン越しの日差しから入る光でも効果があります。



問 健康づくり支援課 ☎7185-1126